

1. 件名：「泊発電所3号機の地震等に係る新基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（129）」

2. 日時：令和3年10月28日（木）10時00分～12時15分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者（※：テレビ会議システムによる出席）

原子力規制庁：内藤安全規制調整官、熊谷管理官補佐、佐口主任安全審査官、海田主任安全審査官、谷主任安全審査官、西来主任技術研究調査官※、松末技術参与、磯田係員

北海道電力株式会社：藪執行役員 他7名※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

- ・ 泊発電所の基準津波に関するコメント回答（日本海東縁部に想定される地震に伴う津波）
- ・ 泊発電所の基準津波に関するコメント回答（日本海東縁部に想定される地震に伴う津波）（補足説明資料）

時間	自動文字起こし結果
0:00:02	もう
0:00:04	原子力規制庁谷です。それではヒアリングを始めたいと思います。本日の内容としては、泊発電所の基準津波に関するコメント回答ということで2本回答縁部に想定される地震に伴う津波という内容になっていますけど。
0:00:20	これあれですよね前回会合
0:00:23	の資料を
0:00:25	に追加した検討が入ってるっていうような形だと思いますので、主に交通加わった点、変わった点を中心に説明していただけたらと思います。よろしく願いします。
0:00:41	はい、北海道電力の松村です。
0:00:44	泊発電所の基準津波に関して今タニさんお話の通り、9月3日の審査会合でのコメントを受けまして修正をしましたので、修正点を中心に御説明させていただきたいと思います。
0:00:58	説明時間は45分程度でございます。説明は青木からさせていただきます。よろしく願いいたします。
0:01:06	北海道電力の青木です。資料に基づいて説明させていただきます。当資料本資料と補足説明資料の2種類をしております、本資料のほうで説明します。
0:01:18	ページめくっていただいて2ページをお願いします。
0:01:22	こちら、本日の説明概要となりましてこちらは9月3日の審査会合のものをそのまま掲載しております。
0:01:30	続きまして、6ページをお願いいたします。
0:01:35	こちら指摘事項一覧を記載してございまして、一番左例は元年9月27日の審査会合に関するコメント回答として指摘No.5番と7番について今回説明させていただきます。なおその他の回答については、前回の審査会合において特段コメントがなかったと。
0:01:54	いうふうに認識しておりますので、すでに説明済みというところで、グレーハッチングにしております。
0:02:00	指摘No.5番についてですが、
0:02:03	こちら例えば以降のところ、断層パターン5の断層面下端を地震本部におけるひずみ集中体の東端に設定した場合の検討などをする事。
0:02:13	あと指摘No.7番。
0:02:15	えっと貯留堰を下回る時間に着目したパラメータスタディの必要性について検討することについて今回説明させていただきますとまた7ページのほうで、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:26	これは3年5月28日の審査会合の指摘No.13番の津波堆積物の評価については、基準津波策定時に合わせて説明することとなっておりますので今後説明予定にしております。
0:02:41	続いて8ページをお願いします。
0:02:45	じゃあ、前回の例は3年9月3日の審査会合に関するコメントについては、今回の説明ですべて回答させていただきますと指摘事項の詳細の内容については後程説明しますのでここでは割愛します。
0:03:00	回答方針としまして10ページをお願いします。
0:03:07	指摘No.5、
0:03:09	こちらの例えば断層パターン5の下端を東端に設定した場合の検討などをするについては回答方針としましては、パラメータスタディにおけるSTEP3波源位置の検討において等日本海等への反映、こちら地震本部の評価対象領域と同じ範囲になりますがこちらにおける東端に設定する断層パターンを整理しております。
0:03:31	その整理結果として、傾斜角60°の断層パターン具体的には断層パターンごと8については、東端に設定しても、泊発電所への影響が小さいと考えられるため、これらは東端に設定しないという方針にしております。
0:03:46	また米印のところで影響は小さいという根拠については、傾斜角60°と傾斜角30°のパスのパターンの最大水位変動量を比較しております、傾斜角60°のほうが小さくなるというところから、影響が小さいと考えております。
0:04:04	続いて11ページをお願いします。
0:04:08	ご指摘ナンバーの7番です。
0:04:10	ちょっと利益を下回る時間に着目したパラメータスタディの必要性について、というところで回答方針については、
0:04:17	一つ目のマル。
0:04:19	水位変動量に着目したパラメータスタディの実施ケースを対象として貯留堰を下回る時間を確認する。
0:04:26	二つ目の丸距離的を下回る時間に着目したパラメータスタディを仮に実施した場合においても十分な助成容量を確保できる見込みであるというところから書類で機器を下回る時間に着目したパラメータスタディは実施しないといった回答方針にしております。
0:04:44	続いて12ページをお願いします。
0:04:49	御社指摘No.の14。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:52	書類できを下回る時間の評価について、朔望平均干潮位を考慮した上でパラメータスタディな評価に市が貯留できる下回る時間に及ぼす影響を地形モデルごとに分析すること。
0:05:06	こちらは指摘事項に即した内容で対応しておりますので回答方針は割愛します。
0:05:12	続いて指摘No.の 15
0:05:15	パラメータスタディの表開始影響分析について北海道性法規の東端を網羅する検討の解析結果を含めて整理すること。
0:05:24	PRA回答方針としましては、もともと前回の審査会合では別の章でまとめておりました北海道正方形の東端網羅する検討についても、今回のパラメータスタディの小児含めた形で章構成を変更しております。
0:05:40	この章構成の変更に合わせて、北海道正方形の東端を網羅する検討の結果も含めてパラメータスタディ評価因子の影響分析を実施しております。
0:05:50	続いて指摘No.16、
0:05:53	こちらについては先ほどの指摘No.5 の改訂指摘事項とほぼ同様の内容ですので回答方針については割愛させていただきます。
0:06:03	続いて 13 ページ。
0:06:05	指摘No.の 17。
0:06:08	防波堤もしくは南防波堤の損傷状態としてありとなし以外の中間的な損傷状態を考慮しなくてよい理由を示すこと。
0:06:17	こちら回答方針については、各地系モデルにおける最大水位上昇量の分布を確認しましては津波の伝播状況を踏まえた上でありもしくはなしの条件で保守的な地形モデルの設定になっているところを説明させていただきます。
0:06:34	続いて指摘事項の十八番。
0:06:37	敷地北側防潮低の損傷による影響確認についての損傷を考慮した場合と考慮しない場合のせい変動量の差分について政令市損傷による津波評価への影響を説明すること。
0:06:51	また敷地北側防潮堤内部の建屋及び防潮て乗り越え道路なしと設定する理由を示すこと。
0:07:00	こちらの回答方針につきましては、
0:07:04	まず損傷した場合と損傷しない場合の差分について整理しております。その結果、その差分が小さいところから損傷による津波評価への影響がないところを示しております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:16	続いて建屋内部の建屋等乗り越え道路については有りなしの違いによる最大水位変動量と最大水位上昇量分布を比較しまして、津波評価に影響がないということが確認できておりますのでなしと設定する。
0:07:31	というような方針にしております。
0:07:34	それで指摘事項の 19 番。
0:07:37	津波評価における海域活断層FB2 断層の波源モデルについて地震動評価におけるれFB2 断層の震源モデルで考慮している。遠藤さんと福山の知見を踏まえた上でも、現状のモデル設定が妥当であることを示すこと。
0:07:53	こちらの回答方針については、地震動評価におけるFB2 断層の震源モデルでは地震発生層厚さ大きい値に設定しておりますが、津波評価における海域活断層のFB2 断層の波源モデルとしては、地震発生層厚さが小さいほうが泊発電所に対して保守的な
0:08:11	津波評価になると考えられ、考えておりますので影響はないということにしております。
0:08:17	最後の指摘事項 20 番。
0:08:20	構造変更後の防潮というの概要がわかる資料を追加することということで、内容がわかる資料を追加させていただきます。
0:08:28	以降では指摘事項を踏まえて前回会合資料からの修正点について説明させていただきます。
0:08:35	ページが飛びまして、96 ページ。
0:08:39	お願いいたします。
0:08:45	こちらのページではパラメータスタディのフローを示してございますが、左側の箱書きをお願いします。
0:08:52	二つ目の丸地震本部における評価対象領域のうち北海道生保大きな領域において、一部想定波源域よりも東側に治山位置する範囲がございます。
0:09:03	この当該範囲を網羅するように波源モデルを配置した検討詳細パラメータスタディのステップ 3 波源位置の検討において実施する内容に変更してございます。
0:09:13	こちら前回の審査会合資料では 2.5 章の東端を網羅する検討の中で検討していた内容をステップ 3 のところで検討する内容に変更してございます。
0:09:24	続いてページが 110 ページをお願いします。
0:09:34	先ほど説明させて釜山波源位置の検討方針についてです。
0:09:38	と箱書きの中段にございます。東方向位置への変動幅をご覧ください。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:45	一つ目のもあれStep1-2 及びステップ 2 の 2 のうちの最大ケース、こちらはステップ 3 の対象形成となりますがこちらについては、断層パターン 1 と断層パターン 6 断層パターン 7 の三つの波源モデルが選定されております。
0:10:01	この内東側に位置する断層パターン 6 到達とパターン 7 二通りを検討対象としております。
0:10:08	こちらを検討対象とする詳細理由については後程説明します。
0:10:13	また傾斜角 60° の断層パターン朝パターンごと 8 については 2.1 章で想定した日本海等への範囲
0:10:22	の東端を網羅できる位置に配置したとしても、泊発電所への影響が小さいと考えられるため検討対象としておりません。
0:10:31	続いて 111 ページをお願いします。
0:10:36	こちらでは、断層パターン 6 と断層パターン 7 二通りをステップ 3 の検討対象とする理由を、下の表でまとめております。
0:10:46	下の表で大きく三つに区分してありまして左側から性上昇側、中段中立が水位下降側、一番右側が防波堤の損傷を考慮した地形モデル①の 3 号炉取水口の上昇側、
0:11:01	この三つに分けて分析をしております。
0:11:04	一番右側については、具体的な地形モデルと評価地点が記載しておりますが、このケースにおいてのみ断層パターン 1 のケースが
0:11:14	最大ケースとして選定されておりますのでこちらだけ分けて整理をしてございます。
0:11:21	ここで一番左の水位上昇側の記載を確認をお願いします。
0:11:26	水位上昇側においては断層パターン 6 のケースが最大ケースとして選定されております。
0:11:33	こちらの断層パターン 6 と同じ傾斜角同じ傾斜方向である断層パターン 2 の水位変動量を比較した図がこちらのグラフで記載しております。
0:11:44	そのグラフみますとすべて右上肩がわりの直線となっております断層パターン 6 のほうの水位変動量が大きいということがわかります。
0:11:53	この結果から東に移動させると、こちらの傾斜角傾斜方向ですと水位変動量が大きくなるということがありますので、さらに東に移動させた場合に性変動量が大きくなるので検討対象STEP3 の検討対象とする。
0:12:08	という理由を記載してございます。
0:12:11	御

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:13	真ん中の列の水位下降側についても同様な整理をしております、断層パターン3と7を比較した結果、断層パターン7のほうのせい変動量が大きくなるのでこちらを
0:12:25	さらに東に移動させる検討対象としております。
0:12:28	一番右側につきましては、断層パターン1と炭素単語を比較しまして、
0:12:35	最大ケースとしてダンサーばタニ地が選定されておりますがこちら東に移動させると性変動量が小さくなりますので、断層パターン1については東方向に移動させる検討対象としてないというところを明記してございます。
0:12:51	続いて112ページをお願いします。
0:12:57	こちら一番左側の水位上昇側においては、断層パターンごと断層パターン6の
0:13:05	と同じ東西方向1の同じ東西へ等、
0:13:09	同じ傾斜方向へただ傾斜角は36条で異なるものを比較しております。
0:13:16	こちらの結果見ますと傾斜角30°の段差バッター6のもの水位変動量が大きいというところですのでこちらを東へ移動させる検討対象としております。
0:13:26	真ん中のc下降側についても、断層パターン7と8を比較しまして断層パターン7のほうが大きいのでこちらを検討対象としております。
0:13:37	また一番右側については参考として結果を記載しておりますが、そのパターン1と2を比較した結果がこちらのケースでは断層パターン1のほうで、
0:13:46	水位変動量が大きくなっております。また先ほど東へ移動させる際係数については、前のページのところで説明した理由ですので、本來說明割愛します。
0:13:59	続いて126ページをお願いします。
0:14:06	こちら指摘事項を踏まえまして防潮低の場合を追加した資料となります。
0:14:11	126ページから131ページにかけて、9月30日のランド側の審査会合の資料を再掲という形で掲載させていただきます。
0:14:23	続いてページ飛びまして162ページをお願いします。
0:14:36	162ページから敷地北側防潮低の損傷による影響確認というところで、こちらについては一連の流れの中で説明させていただきます。
0:14:46	こちらのページの下側のところに地形モデル一覧という表でまとめておまして、一番左側に防波堤の損傷状態として、北防波堤あり南防波堤ありのこれらの組み合わせとしてありなしの組み合わせとして4パターンを基本の地形モデルとして、
0:15:05	資料全体の中で整理しております。
0:15:08	この内スピーチ北側防潮低の損傷状態として健全状態を基本として、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:15:16	そうでは整理しておりますが、この 2.4. 4 章におきましては、話書きで書いております敷地北側防潮堤内の損傷状態の①から③、
0:15:27	も考慮して、その結果を整理しております。
0:15:30	また組み合わせ地形になります防波堤と敷地北側防潮堤外損傷の組み合わせ地形となりますので、
0:15:37	地形モデルの名称は一番右側に合わせた損傷の組み合わせ地形の 1 から 12 という形で整理しております。
0:15:46	続いて 163 ページをお願いします。
0:15:50	2.4. 4 章の検討対象とする波源の形成になります。
0:15:55	ステップ 4 における最大ケースを対象としておりましてこちらについては前回の資料から変更ありませんので説明は飛ばします 164 ページをお願いします。
0:16:09	こちらのページでは敷地北側防潮定が健全の場合と損傷させた場合における水位変動量の差分について整理しております。
0:16:22	また 164 から 167 年にかけて同じような資料を掲載されておりますがこちら防波堤の損傷状態をそれぞれ分けて 4 ページに分けて結果を取りまとめております。
0:16:34	こちら中段にあります。大きなグラフを見ますと、敷地北側敷地北側も調停が健全の場合と損傷させた場合の水位変動量の差分をプロットしておりましてこのプロットが、
0:16:48	ほぼ 0 メーター近くにプロットされているというところから差分については有意な差がないというところを確認いたしました。
0:16:56	164 ページから 167 年間と同じ結果になってもらったような結果になっております。
0:17:02	同様な結果になっております。
0:17:05	続いて 168 ページをお願いします。
0:17:11	ここからは、最大水位分布図の比較を
0:17:16	低利しております。
0:17:17	こちらのページもともと補足説明資料に掲載していたものですが、本資料に格上げして計算しております。
0:17:24	次の 169 ページをお願いします。
0:17:30	こちら左側の分布図な敷地北側防潮定が健全の場合の分布図、右側が敷地北側防潮て損傷させた場合における性分布図、
0:17:41	を計算しておりまして、左と右でも差はないというところを、資料上に記載してございます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:17:49	次のページ以降それぞれ地形モデルを変えて整理しておりますが結果としては同様に差はないというふうにまとめております。
0:17:59	ページ飛びまして 219 ページをお願いします。
0:18:08	こちらには整備分布と先ほど正分布図の比較を説明しましたがここでは整理時刻歴は系の比較について整理しております。
0:18:18	こちらもともと補足説明資料で下が本資料に格上げしております。
0:18:23	こちら出席
0:18:25	3号炉取水口と12号炉取水口、放水高の3ヶ所における
0:18:30	正時刻歴派遣を比較しております。
0:18:34	こちらはKを見ますと、
0:18:37	路線が健全地形の結果、赤線が損傷させた場合の結果を掲載しておりますが、ほぼほぼ結果は同じような派遣になっておりますので重なってるような
0:18:49	グラフに派遣になっております。
0:18:52	こちら次のページ以降ほかの地形モデルについてまとめておりまして、同様な結果になっております。
0:19:00	経常 266 ページをお願いします。
0:19:08	こちらは敷地北側防潮低の損傷による影響確認のまとめのページになります。
0:19:14	二つ目の丸上段の箱書きの二つ目の丸敷地北側防潮ていうの損傷による影響確認としまして、敷地北側防潮手が健全の場合と損傷させた場合における最大水位変動量と、
0:19:30	最大水位分布図と水位時刻歴がKの算定において比較を行いました。その結果有意な影響がないことを確認しております。
0:19:40	そこから矢印の下側以上から敷地北側防潮堤内損傷による波源選定への影響はないと考えております。
0:19:50	続いて 268 ページをお願いします。
0:19:56	ここから補足資料という形で結果を取りまとめております。
0:20:01	一つ目の丸、最大水位変動量、水位分布図、時刻歴発見の比較から敷地北側防潮丁寧な損傷より波源選定に影響はないと考えております。先に説明した内容となっております。
0:20:14	ここからさらなる検討という位置付けで損傷の組み合わせ知見①から⑫について、右側で示しておりますパラメータスタディを実施しまして、
0:20:25	波源選定に対して影響があるかないかというところを確認しております。
0:20:30	パラメータスタディについては、
0:20:32	健全な場合と同様な検討手順で実施しております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:37	269 ページに検討結果をまとめております。
0:20:44	こちらは下に表がありまして、一番左側が敷地北側防潮手が健全な場合におけるステップ 4 における最大係数を計算しております。
0:20:55	そこから右側に書いておりますのが、
0:20:58	敷地北側も調停を損傷させた場合におけるステップ 4 における最大ケースの一覧を書いております、その健全な場合と損傷させた場合で選ばれる波源が同一になったというところが、
0:21:13	検討結果からわかったところになります。
0:21:15	なお、各ステップの検討結果については補足説明資料のほうで整理してございます。
0:21:22	防波堤の損傷状態ごとに 4 ページ、269 から見なくて、
0:21:28	70 人にかけて 4 ページにかけて整理しております防波堤の損傷状態を考慮した場合においても、
0:21:35	同じケースが選定されるという結論になっております。
0:21:40	熱で 273 ページ。
0:21:43	こちらまとめになっております。
0:21:46	→下側の箱書きの中、
0:21:49	検討結果から、敷地北側防潮で健全における最大ケースと敷地北側も調停の損傷を考慮した場合における最大ケースが同一になることを確認いたしました。
0:22:00	以上から敷地北側防潮堤外参照による波源選定への影響はないというところが改めて確認できたというところになります。
0:22:11	続いて 275 ページをお願いします。
0:22:16	こちらのページ以降、敷地北側防潮堤内部の建屋と防潮で乗り越え道路
0:22:23	の損傷による影響について確認しております。
0:22:26	を地形モデルの設定において、損傷敷地北側防潮という参照させた場合では内部の建屋等防潮で乗り越え道路なし条件に設定しておりますのでこの設定の妥当性を確認するという方針にしております。
0:22:42	結果として 276 ページをお願いします。
0:22:48	こちら検討結果としては、中段に、
0:22:52	立状計算しておりますが、左側が、内部の建屋等乗り越え道路がある場合の解析結果、右側が建屋と乗り越え道路なしの場合の解析結果をそれぞれ計算しております。
0:23:06	債最大水位変動量については両者同じ 10.20 メーターとなっております、また性分布税についてもほぼ同じような性分布図になっております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:18	以上から矢印の下側のテキストボックス
0:23:23	地形モデルの設定において防潮堤内部の建屋防潮で乗り越え道路については規模が小さいため津波評価に影響しないということが確認できております。
0:23:35	通じ 277 から 279 については、防波堤の損傷状態を変えた検討結果を記載しております、同様な結論になっておりますような結論になっております。
0:23:48	280 ページがまとめになっております。
0:23:53	こちらは先ほど説明した内容とまとめは共通です。同じですので、説明割愛します。
0:24:00	続いて 297 ページをお願いします。
0:24:12	こちらのページでは、日本海透明に想定される地震に伴う津波としてのすべての最大ケースを一覧でまとめております。
0:24:22	こちらは選ばれるケースについては前回会合から変更ありませんが、内容について、
0:24:27	再度説明させていただきます。
0:24:30	区分として防潮で全面 3 号炉取水口上昇側 12 号の取水口浄化はとこう遂行と 3 号炉の取水口下降側でまとめております。
0:24:41	傍聴で前面と取水口の上昇側については、
0:24:46	調定な損傷を考慮した地形モデル②の検討結果の
0:24:52	水位変動量が最大になることが確認できました。
0:24:56	またホース以降については健全地形モデルで性変動量が最大になっております。
0:25:02	同じように 3 号炉取水口の下降側については、
0:25:05	防波堤の損傷高齢者地形モデル①で最大になっております。
0:25:09	以上から各評価地点における最大水位変動量になる地形モデルはそれぞれ異なるというような結果になっております。
0:25:18	298 ページ以降で、
0:25:22	先ほどの結果を踏まえて防波堤の損傷状態の妥当性の確認をここで整理しております。
0:25:29	を地形モデルの設定におきまして、北防波堤もしくは南果ての設定条件を津波が遡上への影響が大きいと考えられるありとなしに設定しておりますこの条件設定でして、その妥当性を確認しております。
0:25:46	こちら中段の図のところで、防波堤の損傷状態 4 種類想定しております、それぞれの 4 地形における最大水位分布図を計算しております。
0:25:59	下側の箱書きの中を確認をお願いします。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:02	こちらはいずれの地形モデルにおいても敷地の南方向から伝播する津波によって図に示しております区画部のところで局所的に水位上昇量が大きくなって、防潮て前面の最大地点になっているというような津波の遡上メカニズムになっております。
0:26:20	ここで防潮て前面の水位上昇量が最も大きい地形モデルについては、防波堤の損傷を考慮した地形モデル②具体的には北防波堤がありで南防波堤がなしのものでありまして、矢羽で示しております三つの理由から、
0:26:38	保守的な地形モデルの設定であると考えております。
0:26:42	まず一つ目の矢羽としまして、
0:26:45	南防波堤をなしと設定することで、敷地の南から伝播する津波が内に流入しやすくなる。
0:26:52	二つ目の矢羽北防波堤をありとすることで、南から構内に流入した津波が敷地の北方向へ流出しづらくなり、
0:27:01	結果としてこの行革部付近の水位上昇のはさらに大きくなるというような状態になってます。
0:27:07	三つ目の矢羽、ここで仮に中間防波堤の中間的な損傷状態を考慮しますと、
0:27:14	先に説明した。
0:27:16	津波の遡上メカニズムの影響が軽減されると考えておりますので、これは三つの理由から防波堤と南の果ての条件を有りなしと設定する妥当性を確認しております。
0:27:29	また3号炉取水口の上昇側と12号炉の取水口の上昇側についても同様な遡上メカニズムであることを確認して、これらも防波堤ありなしの設定条件として妥当であるというところを確認しております。
0:27:44	続いて299ページをお願いします。
0:27:49	ここではホース以降の上昇側について取りまとめております。
0:27:53	整理方法については先ほど同様でして、
0:27:56	→下側のテキストボックスを確認をお願いします。
0:28:01	こちらはいずれの地形モデルにおいても、図に示しておりません。北護岸から放水交付金での水位上昇量が大きくなっております。
0:28:10	ここで工数以降の水位上昇量が大きい地形モデルについては健全地形モデルと北防波堤がありのものでもた防波堤の損傷地形モデル②のこちらの北防波堤がありのモデルが選定されております。
0:28:26	ここで矢羽で示しておりません。北防波堤をありと設定することで、津波が放水港から構内に留年しづらくなりホース以降における水位上昇量が大きくなるというようなメカニズムになっております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:40	ここで、
0:28:42	仮に防波堤の習慣的な損傷状態を考慮するとこの影響が軽減される。
0:28:47	と考えておりました異常から北防波堤の条件ありなしを設定する妥当性を確認してございます。
0:28:55	続いて 300 ページをお願いします。
0:28:59	こちらでは 3 号炉取水口の下降側についてまとめております。
0:29:05	ニシキ矢印の下側の箱書きを確認をお願いします。
0:29:10	いずれの地形モデルにおいても、内の脆化考慮が大きくなることに起因して、3 号炉取水口における水位下降量は大きくなるというような結果になってます。
0:29:20	ここで性下降量大きい地形モデルについては、防波堤の損傷を考慮した地形モデル①の北防波堤がなしのケースが選定されております。
0:29:31	また地形モデル③についても、北防波堤なしのケースでこちらも、
0:29:36	性下降量大きい結果になってます。
0:29:39	矢羽で示しております。北防波堤をなしとすることで、何か西方向へ津波が伝播し、
0:29:46	3 号炉取水口における水位下降量が大きくなる結果が得られております。ここも中間的な層相転移フォローすると、この影響が軽減されるというところから北防波堤としてありなしを設定する条件の妥当性を確認してございます。
0:30:03	防波堤の損傷状態の整理についてはここまででして、ページ飛んで 362 ページをお願いします。
0:30:19	こちらにはパラメータスタディの評価因子の影響分析について整理したまとめのページとなっております。
0:30:26	指摘事項でございまして来事項として挙げられておりました東端を網羅する検討の内容も含めて、こちらの結果を取りまとめております。
0:30:36	決定論については変更はございません。
0:30:41	続いて 370 ページをお願いします。
0:30:46	ここからちょっと履歴を下回る時間の確認の説明になります。こちらについても一連の流れで説明させていただきます。
0:30:54	検討方針としましては、一つ目の丸水位下降側の評価については、ポンプの取水性に最も影響ある波源の選定を目的として追加凍るんじゃっ科目したパラメータスタディを実施しております。
0:31:08	また取水口の前面には貯留履歴を設置しておりますこの貯留履歴を下回る時間についても確認し、書類だけの容量で市政可能時間 7680 秒となりますがこの時間と比較を行っております。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:23	また補足検討としてパラメータスタディの評価に志賀町履歴の
0:31:28	を下回る時間に及ぼす影響についても地形モデルごとに分析を行っております。
0:31:33	また併せて、最大水位下降量とちょ履歴を下回る時間の関係性についても確認しております。
0:31:42	続いて 372 ページをお願いします。
0:31:46	時間の算出方法について、①の下回る継続時間等②の保守性を考慮した時間で整理しております。
0:31:55	こちらについては前回会合からの変更はございません。
0:31:58	続いて 373 ページをお願いします。
0:32:04	こちらは朔望平均干潮位の考慮方法について取りまとめたものになっております。
0:32:12	左側のはけから右側に
0:32:14	葉系で矢印が書いておりました透時刻歴ハケの初期値が朔望平均干潮位になるように調整して下回る時間の算出を整理してございます。
0:32:27	その概念図を書いております。
0:32:30	374 ページ。
0:32:34	じゃあ評価地点と止水します。失礼しました。都政時刻歴は系の抽出地点については前回から変更してございません。なお、12 号炉の評価については結果から取り除いております。
0:32:48	376 ページ。
0:32:52	前回の会合資料ですと、すべての地形モデルをまとめて整理してはしましたが地形モデルごとに結果を分けて整理しております。ここでは健全地形モデルについて整理してはしまして、
0:33:05	上段のテキストボックスで書いております通り、
0:33:09	都庁履歴を下回る時間については、容量と比較して十分小さいことを確認しております。
0:33:15	オーダーとしては、取水可能時間が 7680 秒に対して、
0:33:20	②の保守性を考慮した時間ですと 700 秒というところで、
0:33:25	大きく裕度があるというところを確認しております。
0:33:30	377 ページに最大ケース。
0:33:34	水位変動量の最大ケースと時間の最大ケースの分布図と時刻歴発揮を掲載してございます。
0:33:42	続いて 378 ページ以降で、
0:33:46	パラメータスタディの評価因子に関する整理をしてはしまして、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:33:52	持ち 300。
0:33:55	80 ページをお願いします。
0:33:58	こちらのケースを例に説明させていただきます。
0:34:03	各ステップのパラメーターさらに評価因子ごとに整理をしております、
0:34:09	じゃあ三つグラフを書いておりますが、一番左から水位変動量に
0:34:14	縦軸にとって整理したものの。
0:34:16	真ん中が①の書類を下回る継続時間に着工を縦軸として整理したものを一番右側に保守性を考慮した時間を縦軸にとって整理したものを書いております。
0:34:28	また横軸については、
0:34:31	パラメータスタディの評価因子ごとに整理しております、
0:34:35	ここではアスペリティの詳細位置を横軸にとって整理しております。
0:34:41	ここでグラフ中における赤破線で示してもらっておりません 0 のケースが
0:34:47	パラメータスタディの最大ケースとして選定しているケースもあってまして、一番左側の生変動量で着目すると、水位変動量に着目して最大ケースも
0:34:59	選定しておりますので、このピークのところで、最大ケースを選定していることがわかります。
0:35:05	また中段の中で気を下回る継続時間を見ますと、
0:35:09	どう下回る時間と水位変動量の最大ケースは一對一で整合するような結果になってはいませんが、概ね
0:35:19	言い方として大きいところで波源選定ができているところを確認しております。
0:35:25	また縦軸が 1000 秒でこちら書いておりますが、参考として取水可能時間が 7680 秒ですのでこれと比べるとオーダーが小さいところで比較しているというような結果になっております。
0:35:39	以降ほかのパラメータ以降のページでは、
0:35:43	他のステップごとに結果を取りまとめております、
0:35:47	385 ページをお願いします。
0:35:54	ね。
0:35:56	それから真ん中のグラフに相関図を書いておまして、縦軸が水位変動量、横軸を時間レートで整理したものになっております。
0:36:05	概ね水平性下降量が大きくなるに従って、時間についても大きくなるような傾向が確認とれております。
0:36:14	なお丸で示しております。それぞれの水位変動量の最大ケースと時間の最大ケースについては完全一致するものにはなってございませんが、概ねな傾向としては、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:36:27	あと右上上がりの傾向になることが確認とれております。
0:36:33	以降のページで他の地形モデルについても同様な流れで整理しているところになります。
0:36:38	416 ページをお願いします。
0:36:50	じゃあこれまでのまとめの結果になっております。
0:36:54	矢印の下側の箱書き
0:36:57	水位変動量の最大ケースについては概ね長履歴を下回る時間の評価は大きくなるパラメータスタディ評価因子を選定していることを確認いたしました。
0:37:07	また最大水位下降量が大きいケースについては処理税金を下回る時間が大きくなるという傾向についても確認いたしました。
0:37:15	また、なお、
0:37:16	前地形モデルにおける②の最大ケースのⅦ100 秒の結果については、
0:37:21	成果これに着目したパラメータスタディの最大ケースと同じになるということも確認しております。
0:37:28	以上の結果より、取り入れが下回る時間に着目したパラメータスタディは実施していないものの、
0:37:34	最大水位下降量に着目したパラメータスタディと概ね処理でき下回る時間はかかる変わらないと推定されます。
0:37:43	またこれに加えて貯留堰の容量は 7680 秒と比較して下回る時間が十分小さいことを踏まえると、
0:37:51	仮に貯留堰を下回る時間に着目したパラメータスタディを実施した場合においても処理でき下回る時間はちょっと
0:37:58	貯水容量を上回る可能性がないというところを確認いたしました。
0:38:04	以上がまとめとなりまして、
0:38:07	最後 447 ページをお願いします。
0:38:19	こちらFB2 断層の位置付けと進路方向に関わるモデル設定のまとめのページになっております。
0:38:26	こちら左側から日本回答縁部の津波評価における波源モデル、真ん中がFB 海域活断層のFB2 断層としての津波評価の波源モデル、右側が地震動評価における整備に断層の震源モデルで整理しております。
0:38:42	このうち真ん中の列の海域活断層のFB2 断層の波源モデルのうち、地震発生層厚さのところを確認をお願いします。
0:38:52	尾根米印で書いております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:38:56	津浪評価に用いるスケーリング則から地震発生層厚さが小さいほうが滑り量が大きくなるということがありますので、地震動評価では地震発生層厚さ大きい値に設定していますが、
0:39:09	この海域活断層の津波評価としては、地震発生層の厚さが小さいほうが保守的なため、このようなモデル設定にしているというところ、注釈で書いております。
0:39:20	ちょっと説明%以上とさせていただきます。
0:39:31	。
0:39:33	はい、規制庁と2で説明ありがとうございました。
0:39:38	それでは確認のほうに入っていきたいと思います。なんか
0:39:44	大きな検討あれですかね。損傷係数の考え方について、データをいろいろ追加していただいているのと、まあ水位低下時間の考え方っていうので。前回よりも細かく地形ごとに
0:39:58	整理されているということかと思えますんで、まず私あの損傷係数の考え方のごとところで、
0:40:07	考え方が整理できて、
0:40:09	ちょっと待ってください。規制庁ナイトウですけども。
0:40:12	すみません。やっぱりよくわかんないんでもうちょっとよく説明して欲しいんだけど。
0:40:20	当院分を設定をして、
0:40:23	56 ページでね、当院部はこの範囲ですとして想定波源域は北海道製法とかは縁部をカバーしない形で設定をしますとなっていて、
0:40:42	載っていて、D101 ページ土木学会の考え方としてやっていっていいと、基本は8とか7とかで縁部カバーするように設定をするんだけど、発注は、
0:40:57	土木学会の考え方に従えばいいとはみ出す形になるんだけど、これは許容しますと言っていてと言いつつ、106 ページでもって示しているのは、
0:41:10	カバーできてるかどうかっていうことについての波源位置という形でカバーできてますっていうのは何故かパターン6を示していい等7
0:41:25	78でカバーできているのかどうなのかっていうのがよくわからないんですけども、
0:41:32	D、E棟ラップアップのときに言ったんだけど、これをはみ出す形でやるっていう形で笑顔は何かカバーできそうなんだけど、それは上がこの考え方でカバーできていますっていうのはどこで説明をされているのかということ。
0:41:48	じゃあ一方で、下げ側って本当に今後の考え方でカバーできているんですかってことに関しては、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:41:55	この考え方でカバーできてるんですということについては、どこで説明されてるんですか。
0:42:39	北海道電力の青木です。
0:42:43	スライドで言いますと 196 ページをお願いします。
0:42:52	ちょっと指摘事項ササキh適度な確認事項のうち、下降側の評価のところについて補足説明させていただきます。
0:43:02	断層パターン 6 年上昇がもう東に移動させておりますが、
0:43:07	116117 ページでまとめておりますように、水位の下降側で大きくなる断層パターン 7 のケースを対象として、こちらについても東へ移動させたケースを実施しております。
0:43:21	東へ移動させる根拠というところで、
0:43:25	今日、111112 ページでまとめているように、
0:43:32	下降側については、
0:43:34	断層パターンなのものが一番
0:43:37	厳しいケースですのでこちらを東に移動させたというような流れで整理してございます。
0:43:46	5 番については以上です。
0:43:48	規制庁の伊藤ですけれども。そうすると基本パターンでは債水位最低側をカバーできていないことを言われているということですか。
0:44:05	基本パターンが断層パターン 1 から 8 のことをおっしゃっていると思いますが、違う違う違う保険域
0:44:15	今、縁部と言っているブルーにハッチングしてる範囲をカバー東側全部上を北側のところについては普通によらない形で設定しているんだけど。
0:44:30	このパターンでは下げ側をカバーできていない基本波源
0:44:35	1 というふうに考えているので、7 番が一番下げ側として聞くので、それを不は縁まで要する形で設定をしています。そういう説明ですか。
0:44:57	北海道電力オクデラでございます。
0:45:01	基本設定してる、想定波源域ですけれども、
0:45:06	ヤブ東とか西首都化ということではなくてまず基本的な 1 として設定して、
0:45:14	概ね網羅するというような形に想定を
0:45:19	評価対象領域を概ね網羅するという形になりますけれども、
0:45:25	東に移動すると水位変動量が上昇が過去が大きくなるとか西に行ったら大きくなる上昇が過去が大きくなるということではなくて全体の傾向をまずその基本的な位置で見るといったようなことをやっています。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:45:42	その結果、東側に行く報道水位変動量っていうのは厳しいパターンがわかってきたので、その結果を踏まえて、パラスタを網羅する網羅する範囲とパラスタをふやす追加しているといえますか。
0:45:59	範囲を検討していると、その範囲としては製法大きいで一部はみ出しているところを十分にカバーを東側以降どう水位変動量が大きくなるということが基本的な波源位置での検討でわかったことから、
0:46:15	概ね網羅する範囲を設定して今回 111 ページ、112 ページに示したような検討結果で、水位上昇側も下降側も十分な検討ができているというようなことを考察として示させていただいたところです。
0:46:34	以上です。
0:46:38	規制庁ナイトウですけれども、まずは基本パターンとか区域については上昇は上昇側も説明聞いてないけど、下降側についてLIBOR一番きくパターンレート等縁部等の範囲内ということについてはカバーできていない。
0:46:59	ということでもいいんですね。
0:47:22	北海道電力オクデラでございます。
0:47:26	基本的に想定波源域等我々が言っているものは評価対象領域をある考え方で概ねカバーするところにまず設定させていただいてますけれども、一部連動を考えたときに製法大きいで
0:47:44	はみ出している部分というのが出てくることから、その部分についてはパラスタのフローの中でカバーすると、一部はカバーするという考え方でございます。以上です。
0:48:00	規制庁のですけれども、殺すとでカバーするとしているのか、そういうことなんですね。
0:48:06	いや、よくわかんないのポストで沸騰縁部の領域というのをカバーしますという中頃を見てるところまでやってるのはどういう考え方でやっています。
0:48:17	そこまで縁部の領域はこの範囲なのでここを考えればいいですっていうのが基本で最初に言われているわけですよ。
0:48:27	で、土木学会の考え方にしていく考えで従えば、一部の考え方は東部と隆起をカバーへのはみ出してしまうただけれども、それについてはそういうところの考え方に従ってやるので縁部とはみ出してしまうってことについてもそろそろよくそんな言い方悪いけどしょうがないのでそれでやります。
0:48:47	って話ですよ。逆に言うと、
0:48:50	以上言うと、
0:48:52	地表側というかね、その部分の当院の考え方プラスとか棒すると言ってんだけど、ちょっとポストでやるときに、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:49:00	どこまでやればいいのかという考え方なんですか。
0:49:04	一番最初遠い僕この範囲なのでこの範囲内でやりますといった時にはごろなぜこう 20km 移動させてかなり大きい。
0:49:12	はみ出すパターンも
0:49:14	やってるんだけど、じゃあどの範囲をよく考えてパラスタをやってるのかっていう基本ポリシーがわからないんです。
0:50:40	北海道電力オクデラでございます。
0:50:43	想定波源域をここに設定したっていうところの規定条件としましては、
0:50:49	もう、いろいろな知見からの検討で東西幅 50km、
0:50:56	それと走向が 3 度 183。
0:51:01	こういった機器条件がありますので、評価対象領域等、
0:51:07	概ね合致させるといいますか基本的な 1 として一番当てはまるのが、
0:51:13	南西大きいが我々の泊発電所に対する影響が大きい主部と考えれば、この位置になるであろうと。
0:51:24	その時に一部正方形連動させた方の
0:51:29	製法機能一部はみ出していると。
0:51:33	ということでこの基本的な設定というのは今我々が赤枠で示しているところで全体の概略パラスタなどで影響を見ていく範囲かなと考えております。
0:51:45	今回このはみ出したところについては、
0:51:49	警報機能を
0:51:52	あることでどこまでやるのといえますと、
0:51:56	言っている。
0:51:59	110
0:52:03	114 ページから 117 ページに示させていただいたように、いろいろな
0:52:11	図面のプレスなどの制度もありますので、5 キロ単位で十分に包絡できるところまで検討する。
0:52:22	その十分にカバーできるように検討させていただいたと。
0:52:26	それはパラスタのパラスタでカバーするという話になります。我々としてはそのように考えております。
0:52:35	以上です。
0:52:47	規制庁サグチですけども、ちょっとごめんなさい、私も少し混乱してきたので、もうか整理というかちょっと教えていただきたいんですけど。
0:52:56	101 ページの
0:53:00	さっきちょっと話になってましたけど、一番下の
0:53:07	断層パターン 3 とか断層パターン 6 の断層下端部では想定は B 機の

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:53:14	外となることは、共用するって言ってますけど。
0:53:19	これ、例えば一番東側、
0:53:22	ですね例えばここの 101 ページの一番下の模式図の一番東側そのはみ出てるって言ってますけど、これが 106 ページとかで見ると、
0:53:36	このブルーの範囲の一番東に。
0:53:40	なるように、
0:53:42	基本、基本、基本となる置き方っていうんですかね、それを設定している。
0:53:49	んじゃないですか。だから、結果としてこれ、
0:53:52	はみ出でなくないですかって言うのが 1 点なんですよ。要は 101 ページの
0:54:00	この下の模式図の一番上の真ん中ですよ、真ん中の点を固定して、そこから断層パターンをいくつかやってるわけじゃなくて、あくまでも端っこ一番左な東灘東っていうものを
0:54:16	この 106 ページとかのブルーの広範囲のところに合わせるようにしているので、結局、
0:54:24	はみ出してないんじゃないかと思うんですよね、この断層パターン 6 とか 3 とかって、
0:54:31	結局
0:54:33	ほかのところと同じような形で、
0:54:36	ちょっとここが、
0:54:39	よくわからないんで、ちょっと私も頭の体操とか整理をさせていただきたいんで。
0:54:46	結局この、
0:54:47	はみ出すことを共用するとかという話と、
0:54:51	今の設定の
0:54:55	パターンというのか、仕方の関係って、ちょっとどうなってるのかも目下教えてもらっていいですか。
0:55:04	北海道電力の青木です。ちょっと回答になってるかわからないんですけど、まだ 100 ページで書いております。この赤枠
0:55:16	こちらは、想定波源域と書いてる東西幅補助キロメートルの幅になってございます。そこから当断層パターン 6 は東方向に若干方がはみ出ているというような位置関係になっております。
0:55:32	500 ページ 101 ページは整合するような考え方ですね。一方 106 ページで記載しております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:55:40	こちらについてはちょっと同じ色で書いてしまったので誤解を与えてしまったのかなと思ってんですが、こちらは 100 ページで言うら 3 パターンのこの緑の線のやつが、
0:55:52	この一番左側で書いてる矩形モデルの位置関係を書いてる。
0:55:58	ような
0:55:59	認識になってますんでそこからさらに黒字にしたり、東へ移動させたりというところをすべて断層パターン 6 を代表にしてここは記載しております。
0:56:12	ちょっと回答になってますでしょうか。
0:56:17	サグチです。なので結局、そこがちょっとごめんなさい、やっぱり私わからなくて 103 ページで書いてある。
0:56:25	例えば右の図ですね、右の図の緑のこの破線のところありますよね非一番東により要領というのか、断層下端 6 の場合はこの緑の破線になるんですけど、この緑の破線が、
0:56:42	いわゆる 106 ページでいう基準って書かれているこの一番左に対応しているということであるんだしたら、これはみ出すとかっていうのがどうい
0:56:56	扱いなのかなと、結局これ、
0:56:59	はみ出してるはみ出しているの一番北と一部南半分ぐらいはちょっとはみ出してるかなって確かに思いますけど。そうそうじゃないところもあって、
0:57:10	はみ出すは乱さないっていうのがちょっとよくわからなくて、
0:57:19	だから、結局、
0:57:24	ごめんなさい、私もちょっともう少しよく見てみますけれども、結局一番東灘東端各パターンもですね、これがちゃんとこの日本海等縁部の波源の
0:57:40	この領域っていうのか、ここの範囲はちゃんと網羅できてきてますよっていう
0:57:46	のが重要で、当然今こうパラスタのも含めてそういう部分っていうのはちゃんと網羅できていますという、そういう説明でまずいんですよね。そこは大丈夫ですよ。
0:58:06	北海道電力オクデラでございます。ちょっと言葉の
0:58:11	説明の意味合いとかがわかりづらいのかなと思ひまして、我々今この資料の中で想定波源域等行って赤線で引いているところは、
0:58:23	波源モデルを全体でパラスタしたときの設定範囲ではなくてあくまでも先ほど私が言いました東西幅 50km ³ ° で設定した時の
0:58:39	評価対象両方既往概ねカバーできる基本的な 1 というような意味合いでこの赤マークを定義しております。基本的な 1 ということです。そこを今想定波源域と言っているんですけども

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:58:54	幅というのは、断層パターンの上端の東西幅ですね 1 から 8 の今パターンで示したところの 101 ページの下の図ですね。
0:59:06	そこを赤枠の
0:59:10	上端のところを合わせているということでそういう意味では 3 から
0:59:15	3 と 6 のパターンについてははみ出すということを言いたいがために、この資料で表現しております。
0:59:23	ちょっとそこら辺が全体のパラメータスタディを含めた波源モデルの設定範囲の説明等、
0:59:34	わかりづらくなってしまっているので、
0:59:39	その辺に関する今事実確認かなと理解。
0:59:44	してよろしいんでしょうか。そうであれば、この想定波源域という要望、
0:59:51	の定義といいますか、そこがわかりづらい表現になっているのかなというふうに理解したんですけども、
0:59:59	規制庁ないことですが、我々想定波源域の話をしてるんじゃないで、56 ページで、日本海等縁部はこのブルーのハッチングした範囲ですと、
1:00:13	推移したんだよね。
1:00:15	実施本部とかのとか、これは、深部まで含めて、海底面から進歩まで含めての領域として設定されているということですよ。その範囲内で東西に 50 機で赤でハッチングしてるけれど想定波源域と設定されてるんだけど。
1:00:32	これは北海道製法とかはカバーできていないですよ。
1:00:37	カバーできていないんだけど、これはパラスタでカバーできているんですかといったパラスタでカバーできているのですが、説明しますと言って前回説明いただいたんだけど、あんまり説明になってなかったのだからちゃんと説明してねといったのが前回の会合なんだけど。
1:00:54	その説明として出てきたやつが、
1:01:00	加工保険 1106 ページでやってるやつだと、断層パターン 6 と言ってるので。
1:01:07	僕ってもとはみ出し許容するんだけど、ちょっと遠投縁部のブルーのは、青いハッチングのところと赤の領域として設定するところと言うと、
1:01:19	どんだん時土木学会のもって流と 7 と 8 のパターンがちゃんと端っこまでちゃんとカバーできてますかって話が説明できてなきやいけないんだけどそれって変わってきているんですか。
1:01:33	今の説明資料上で、どこを見ればわかりますか。
1:01:47	北海道電力の青木です。
1:01:50	当断層パターン七、八を限定して言うと、結論としては、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:01:55	56 ページで書いている 2.1 章の日本海東部の範囲は網羅できていないと考えて ます。
1:02:04	網羅できていないので、東さらに移動させた検討をやっていると。
1:02:09	というような考えです。以上です。
1:02:13	いやだからね。規制庁ナイトウですけども、それから網羅できてないですよ ねと言ってこれはパラスタでカバーするんですかっていったパラスタでカバーし ますということだったんだけど、じゃあパラスタでカバーしていることがどこを見 ればわかるんですか。
1:02:27	その説明として東のパターンを予想するパターンとしてくけ
1:02:31	とか、時とか、
1:02:34	東のパターンとかって書いたこれ 6 断層、
1:02:38	－6 のパターンで書いてあって、
1:02:46	縁部という領域をカバーしなければならない断層パターンの幾つか
1:02:55	7 と 8 でカバーできているのかどうなのかってのが、
1:02:59	どこで説明されてるんですか。
1:03:03	北海道電力、
1:03:18	北海道電力の青木です。当議論になっているのが断層パターン 7 と 8 ですの で 116 ページをお願いします。
1:03:29	こちら一番左側書いているものは出そうパターンナガノそのままの位置で波 源モデルの位置を変えております。こちらと水色の日本海ための範囲を比較 すると、これで網羅できていないと考えておりますのでさらに東に移動させた 検討が
1:03:47	一番右側の形成になっておりましてこの断層刀を
1:03:53	逃がして 15km ずらすことによって、
1:03:56	争点は水色ハッチングの想定波源域の範囲を網羅できるというような考え方 のもと整理してございます。
1:04:04	この中で、断層パターン 8 について考えなくて理由というところが、
1:04:10	110
1:04:13	2 ページで書いております。
1:04:16	真ん中の図で、
1:04:18	ださパターン 7 と 8 を比較した結果、どんなのほうが水位変動量として大きい ので、小さくなる 8 については検討対象外というような整理をしております。
1:04:30	これ回答になっていますでしょうか。以上です。
1:04:48	規制庁の伊藤ですけど、確認なんだけど、116 ページの矩形モデル。
1:04:55	基準と言っているのは、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:04:57	これは想定波源位置のこと言ってるんですか。
1:05:06	単だけで言えば、想定波源域の東端等の断層パターン7で書いております東端は一致しております。
1:05:17	でもこれが50km幅としてやった場合の断層パターン7-1ということですね。
1:05:26	その通りの認識です。
1:05:28	6号炉断層パターン7でいうと、
1:05:32	そういう方のほうはカバーできてないのでそれを要する形で
1:05:40	ポストをやりますと、
1:05:42	10km単位で寄せるって言ってるんだけど。
1:05:47	10kmだとカバーできてないんですか、できてるんですか。
1:05:53	10km、116ページのもので言うと10キロですと、網羅できていないと考えてます。その理由のところはちょっと説明は割愛したんですが、上段のテキストボックスの二つ目の丸で書いておまして、この図の作成制度の不確実性を考慮するため、
1:06:11	5kmメーター低地で確認して、その結果、10kmだと。
1:06:16	ものができていないのかなと考えておりますのでさらに15kmまでずらして網羅できているというような評価にしております。以上です。
1:06:25	規制庁ナイトウですけれども、二相説明行っカバー
1:06:31	この説明だと余裕を持ってもらって来ないってことだから、
1:06:36	網羅をしている部分じゃないんですか。
1:06:46	北海道電力オクデラでございます。
1:06:51	ちょっと先ほども言いました。評価対象領域の青い図というのは我々図から読み取ってトレースしたものですので、
1:07:02	我々のトレースと断層パターン7-10kmというのは、
1:07:08	重なっている申し込む網羅できているようにも見えるんですけれども、このトレースみたいな制度を考えたときに十分かどうかというのを余裕を持てるかどうかというところを、
1:07:24	考えると、もう5km移動したほうがよいであろうという判断を我々がしたということです。
1:07:31	以上です。
1:07:43	規制庁ナイトウですけれども、えっとね、そこの考え方が資料4でもわかんないんですよ。
1:07:59	ここで今聞いてやっ和多かったんだけど。
1:08:03	基本の50kmで置いたパターンだと海底面として見たときに、北側のところについては、領域はカバーできてない場合があるので、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:08:18	そこをカバーするような形で、東に要するパラスタを実施してカバーするようにしますと、
1:08:25	D株をするにあたっては、領域実行キロ単位で振っていくんだけど、10kmのところではカバーしてるんだけど、
1:08:35	さらに、
1:08:38	5km
1:08:39	余裕をもってカバーできるように含みます。
1:08:43	なぜなら、縁部の領域をトレースしておいた段階においてはそこに不確実性があるので、きちんとその不確実性も考慮した上でよりカバーできる範囲まで振ります。
1:08:57	そういう説明ですか。
1:09:02	北海道電力オクデラでございます。通りの説明でございます。
1:09:08	既設のですけども、
1:09:10	て入ってないっすよね 116。
1:09:23	北海道電力オクデラでございます。
1:09:27	襲っおそらく今、我々としては一生懸命者作文してきたつもりなんですけども、ばらついてて、いろんなところに、
1:09:37	要素がばっと時散らばっていてわかりづらいという、
1:09:43	認識かと思しますので、例えば 110 ページのところに検討方針を書いておきますので、
1:09:51	ちょっと書き方は考えますけれども、今、
1:09:55	ナイトウさんと私との間でやりとりして確認できた内容って認識一致していると思しますのでそのやったことがわかるように、何かその検討内容を概要として書くことによって、
1:10:11	記載をわかりやすくしようかなと考えたのですけれども、いかがなものでしょうか。
1:10:17	規制庁ナイトウですけども、これやったことがわかるようにではなくて、どういう考え方で縁部という領域をカバーするようなモデルを設定をしてそれがカバーできてない部分についてはどういう考え方でパラスタをやるから。
1:10:34	それでカバーできるので、基本設定の位置としては問題がないんですっていうことですよ。
1:10:41	やったからいいんですって言わないですよ。
1:10:48	そう。
1:10:52	規制庁タニです。ちょっと、ちょっと私のほうも資料見ててどうかと思ってたのが 64 ページで、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:11:01	想定波源域の設定まとめというふうには書いてますけど、多分ここですわなんていうんですかね、パラスタで網羅するって言うてる東側のことの記載が全くないんですけども、ちょっとその、もともとどういう考えなのかっていうのを記載して欲しくて、
1:11:19	要するに網羅できていないって先ほどから話ありましたが、その網羅できていないのパラスタで見るのでいいんだっていう話が何かちょっと抜けている気がするんですが、要するに、パラスタの詳細パラスタに入ってくると、この 15km
1:11:36	とか、ずらしたものに対して、アスペリティの位置だとかの探索はしないわけですよねそっから最大になるような
1:11:45	15kmを寄せたものに対してね。
1:11:48	なので、それでいいって考えてるっていうのがこの資料からちょっとわからなくて、多分御社のほうは、
1:11:57	この想定波源域の考え方として、北海道南西沖を
1:12:01	ちゃんと網羅しててはみ出ている部分はみ出てるっていう言い方してる部分もって北のほうの話であって、何かその辺の基本的な考え方。
1:12:11	基本的な考えなんですけど、そういうふうにして設定したところのはみ出てることを担保するような形で何かパラスタをやっているっていう、いうふうな説明じゃないかと思うんですけど、ちょっとそのパラスタで 15km寄せたので、
1:12:27	もので見ていいんだよするパラスタの一番最初のパターン 8 日以降、追加されるような形にならなくて、詳細パラスタで見るっていう考えがなんか見てて、ちょっとわかりにくいというところがあるんで。
1:12:42	その辺の考えをこう説明していただけたらと思うんですけど。
1:12:57	北海道電力の青木です。
1:13:03	想定波源域の設定位置と比べて、詳細パラメータスタディの範囲が広い範囲でとっている。その理由というところで、
1:13:13	北海道正方形の北側に着目すると、この日本海東部の水色ハッチングのところはカバーできてない。これを担保するために詳細パラスタで見れるっていうような言葉であったりその流れが、資料中には読み取れないというような話。
1:13:30	指摘だと思います。この点について、ちょっと資料充実化したいと思っております。以上ですはい規制庁投入そうですね。だからあの波源寄せたモデルっていうのがパラスタで見るって言うてるけど言葉としては、概略パラスタの一番最初に来るようなパターンのお話じゃなくって、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:13:48	詳細パラスタのほうで最後寄せるっていうような考え方をしていると思うんで、それでいいのかどうなのかっていうのをちょっと今考えていることが資料にわかるようにしていただきたいというところですけど、よろしいですね。
1:14:05	了解いたしました資料に反映させていただきます。
1:14:49	パパ
1:14:50	規制庁タニです。ちょっと確認の次の損傷係数の考え方についてちょっと確認したいんですけど 266 ページで、
1:15:00	これまとめなんですけれども、
1:15:04	多分その前段での有意なそれぞれこれ他の敷地北側防潮で
1:15:13	の話ですね、これ考慮しても、汚損破損を考慮しても、有意な影響がないっていうのが、その前のページで示されてなんか 266 ページ見ると、
1:15:27	以上から敷地北側防潮低の損傷による波源選定への影響がないと考えられるっていうふうに要するにこうある場合とない場合と、水位変動がその次の砂岩、ほぼないから。
1:15:44	だから波源選定影響、影響がないと考えられるっていう書き方をしてるんですけど、何か今の説明を聞くと、
1:15:51	268 ページ以降で、
1:15:55	選定に影響がないっていうことを、実際、
1:16:00	確認してるっていうことなんですよね。いなかったんですよこれだから、影響がないと考えられたっていうのは確認もちゃんとしてるってことなんですかね。
1:16:15	北海道電力アオキですね、266 ページの記載の異常から移行の影響ないと考えられるについては、
1:16:23	以降の補足資料を踏まえた上でとか影響はないということが考えではないということを確認したというような位置付けになってます規制庁とそういうことなんですわわかりましたちょっとそれなんかをわかるように書いてもらったほうがいいと思うんですけどね。
1:16:40	これ今の 266 ページにまとめてなってるんで。
1:16:45	どう考えてるのかっていうのは、
1:16:48	お願いします。
1:16:50	あとですね、さっきの有意な数字で有意な
1:16:58	影響がないっていう話が
1:17:01	これ 166 ページを見ておるんですかね。
1:17:13	まだちょっと私
1:17:16	あれ。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:17:17	これずっと同じ資料ですね、166 ページではその有意な差っていうのが 8cmとかの差はあるけれども有意な差がないっていうような話をされてるってことでいいですかね。
1:17:31	有意な差っていうの 8cmぐらいは有意な差じゃないっていう話をしてるんですか。
1:17:37	北海道電力の青木です。
1:17:41	ちょっと、
1:17:42	順番がずれてしまうかもしれないんですが、
1:17:45	現選定の影響がない結果を 268 ページ以降の補足資料で性確認してまして、この結果があった。
1:17:54	を踏まえた上で波源選定に影響がなかったので、今回の 8 センチですというような差はないというようなふうに考えております。以上です。規制庁田尻ですそれってあれですか、0.08 センチっていうのは波源選定に対して、
1:18:11	優位な差がないっていうことを言われているのか、0.8cmっていうのは何て言うんですかね、数数値数値的に 8cmだから小さいからとかそういう話をしてるのか、どっちなのかを確認したかったんですけど。
1:18:26	あれですね、選定に影響がないっていうことを言ってるってことでいいですか。
1:18:35	北海道電力オクデラでございます。
1:18:38	もともと、
1:18:40	追加のバランス
1:18:43	追加の計算というのは後から我々無事にやったものなんですけれども、趣旨としては、
1:18:52	8cmというわずかな差の数字として、何何メーターも変動するようなものに対して、ここでの違いというものが、
1:19:02	数センチ 8000 時大きくても、そういったところ、また、図で言いますといろんなコントロールポイントでほぼ一致しているっていうようなところを考えると値として小さいので差はないということを言い、言いたいがために、この前段の資料といたしますか。
1:19:20	266 ページまでの資料はつくっております。
1:19:24	以上です。趣旨はそういう意味で書いてます。
1:19:27	はい。
1:19:28	この有意な差があるのかないのっていうのは多分議論というか
1:19:35	サイン審査とかの話だと思っんですけれどもこれって、
1:19:39	今なんていうんですかね、この最大水位差分のゼロっていうのが今採用している。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:19:46	要するに両方、
1:19:48	健全地形ですか。冒頭道庁防波堤がある場合っていうのをゼロにしてて、これなくしたら 8000 値上がるっていう
1:20:00	意味でいいですかねそのケースごとに
1:20:02	某棒調停の損傷状態を考えたときに 8cm ぐらい上がるようなケースも出てくるっていうことでいいんですよねこの説明。
1:20:12	ちょっと 166 ページのところの話だと思うんですがちょっと補足させていただきます。
1:20:18	ここで比較しているのは、防波堤は固定の条件にしてまして、敷地北側防潮という健全の場合と損傷させた場合で多分取ってます。
1:20:31	その健全から損傷させた場合を引いてますので、健全の方がそういう自動車大きいので、損傷させると数字が 0.08cm 小さく、
1:20:43	0.08 メーター小さくなるような結果になってます。
1:20:48	以上です。
1:20:50	規制庁タニです。今検討しているケースっていうのは、これ全体を通して、
1:21:00	水位が変動量が大きくなるようなケースが採用されてるってことでいいんですか、ちょっと何かその辺が、
1:21:10	差分っていうのが、
1:21:12	よくわからなかったんですけど。
1:21:15	そういうことでいいんですかね。
1:21:26	敷地北側防潮低を
1:21:30	健全の場合と、
1:21:32	敷地北側防潮という参照させた場合の差分をとってまして、その結果健全のほうが、
1:21:39	概ね性変動量が大きい大きいので、差分をとると。
1:21:45	若干、若干ですがちょっとプラス側の数字になってるという結論です。
1:21:50	ちょっとすべてのケースがそうなのかと言われると、ちょっと確認しないとということになります。
1:21:57	規制庁と二相ちょっとその辺のなんていうんですかね差分っていう言葉だけで書かれると、多分値を見たらひょっとしたらこうわかるんだと思うんですけどどっちが大小の関係がよくわかんなくて、それ分かるような記載にしていだけたら、ちょっと私の疑問も
1:22:16	なかったのかなと思いますんで。
1:22:19	ちょっとわかるような記載にしてくださいね。
1:22:28	規制庁ナイトウですけども、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:22:30	でもこれ
1:22:31	有意な差がないことかもしれないに対して有意な差の北海道電力のアオキですとこちらの水平と敷地北側防潮提案損傷を含めた結果のほうは補足説明資料のほうに今計算してる。
1:22:46	だけですので、こちらについても、本資料のほうに掲載して損傷させた場合とさせてない。
1:22:53	損傷等がない場合とさせた場合の水位変動量の値がわかるような形で資料を整理したいと考えてます。以上です。
1:23:02	規制庁体制とその数字の羅列はあんまり
1:23:05	沢山ページを持ってくる必要はないと思いますんで重要なところだけちょっと持って来ていただけたらと思います。
1:23:18	規制庁ナイトウですけども、刀禰本州に持ってきますって数字いっぱい並べました。どうでしょうって資料作ってくださいと我々は求めています。
1:23:29	検討した結果として、
1:23:32	ということがわかったので、
1:23:36	どういう考え方でいいのかってのちゃんと書いて欲しいんですけど、ここで言いたいのは、
1:23:42	何なんですかね。
1:23:47	何を言われたのかがよくわかんないですよ。
1:23:53	北海道電力オクデラです。ここで言いたかったことに関しましては、
1:23:59	北側防潮低をそのままにしても壊しても、
1:24:04	遺産結果に。
1:24:08	大きな差というか、
1:24:10	ほとんど差がないよということなので、
1:24:14	差がないということを言いたかったということです。
1:24:17	以上です。ちょっとそこを
1:24:20	何を言っている今おっしゃったように検討結果がどうで、
1:24:24	だから我々こう考えてますっていうようなところをもう少しわかりやすく、
1:24:32	記載を検討したいと思います。
1:24:38	規制庁ナイトウですけども、これ有意な差がないときに、何をもちて輸入するのかよくわからないんだけど。
1:24:46	いたいのを、
1:24:49	健全のほうが高い水位変動量勝っている。
1:24:56	ということをお願いいたいたいですか。
1:25:00	まずは、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:25:01	それを言いたいんですかってそれを言った上でなので。
1:25:06	もっと最後に結びつくの波源選定に影響があるのかないのかということについて土木できたりてんのかっての我々は説明をしてもらいたいんですけれども、
1:25:20	そこはどういう整理をされたんですが、この結果、これらの結果を受けて、
1:25:28	北海道電力オクデラでございます。第1棟仮称とかではなく差がほとんどない。
1:25:34	結論としては違算でも確認してますけれども波源に波源選定には影響がなかったです。
1:25:43	以上です。
1:25:48	規制庁ナイトウですけど、もう一度ちょっときちんと説明して欲しいんですけども、サーバーあるんですよ。ぼ防犯
1:25:56	上程の損傷のありとなしにおいて差は生じるということでもいいんですよ。
1:26:05	で、操作は損種数健全なほうが評価点では高くなります。
1:26:14	ということなんですよ。
1:26:18	すごい、そういう理解でいい。
1:26:20	いいんですよまずは
1:26:40	当北海道電力の青木です。
1:26:43	差分についてグラフ化したんですが、中身として、すべてがすべて健全地形の発生変動量が大きいというわけではなくて、
1:26:53	敷地北側もちょっと損傷させたことで、もうわずか本当わずかであるんですが、0.01メーターとか数字が下がるようなケースもございます。そういったところから数字の大小ではなくて、多分自体がオーダーとして小さいというところをこの資料で言いたかったところになります。
1:27:12	以上です。
1:27:20	規制庁ですけども。だからここで今説明聞いとかでここで示したいのは、当あり防犯棒調停のありなしで差は生じるけれども操作は数cm程度と小さいっていうことを示したいっていうこと。
1:27:38	ですか。
1:27:44	その通りです。
1:27:47	ということであればこの有意な差って何に対しての有意なんですか。
1:27:52	それがわからない。
1:27:54	差は生じるんですよ。
1:27:59	北海道電力オクデラでございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:28:03	波源選定に影響ないだろうなっていう影響なかったんですけども、そういったところの日本言いな下がったら波源選定に影響があったら有意な差があるというところで、
1:28:19	ちょっと有意な差ってここ仰せ
1:28:22	小さいっていうごくわずかっていうことを言いたかっただけですので、そこで混乱が生じているようなので、記載を適正化したいと思います。
1:28:34	規制庁ナイトウですけども、
1:28:37	今の説明でもごくわずかって何に対する告発かなんですか、泡生じるのは生じるということここでは言いたいですよね。それらを受けてどっかで差は生じるんだけれども、
1:28:52	励ん数が変わることによって生じるさってのはこのぐらいあるので、防潮て有りなしは影響しないとそういう論理構成にしてるんじゃないんですか。
1:29:05	おそらくそういう論理構成だろうなと思うんだけど。
1:29:09	皆さんの論理構成がこの資料見ててよくわかんないですよ。
1:29:15	このデータではこうです、このデータではこうなります。だから、それらを考えれば、
1:29:21	おありなしについては影響がないっていうことを言ったんだろうなというふうには思うんだけどそう言いたいデータを
1:29:30	あっち見こっち見しないと引っ張ってこれなくて、皆さんの論理構成があんまりはっきりしてないんだけど。
1:29:37	皆さんの論理構成としては、防波堤のありなしでは差は生じるけれども、
1:29:45	それは解析上出しますと、あとで波源が変わることによって
1:29:53	当さがどのくらい出のかっていうのについてはこのぐらい出ているんで、それを考えれば、防波堤のありなしは、波源選定に影響がないと判断をしたとそういう論理構成でいいですか。
1:30:52	北海道電力の奥寺でございます。この操作をBとか小さいとかっていうとどうしても主観が入っているというふうに表示上の主観が入ってくるふうになってしまうので、なんて言ったらいいでしょうね。
1:31:08	私ごくわずかっていう
1:31:11	だからごくわずかとは何ぞやというような話になってしまうのかなと今思いました。
1:31:17	それで、この場合ですけども、補足資料のほうに実際計算やって波源をです、変わらないということを追加の検討としてやっ
1:31:31	今回の資料にもつけさせていただいているんで。
1:31:34	あきぎんの選定に影響はなかったというふう

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:31:40	結果も持っておりますのでそう説明したほうが、
1:31:44	わかりやすいのかなと今思いました。
1:31:48	の方向で記載を明確化、適正化したいなと今思ったのですけれども、
1:31:56	以上です。規制庁ナイトウですけれども、有意だとか、ごくわずかって書くのであれば、何に対する比較論ですので主管ではなくて比較論ですから、何に対してっていうのが明確になってないと駄目なんですよ。
1:32:12	北海道電力オクデラでございます。
1:32:15	おっしゃってる趣旨理解しております。
1:32:20	はい。
1:32:21	ご意見も今確認させていただいた上で、
1:32:26	結局のところ波源選定に影響がないということをいろいろな分析の中で、
1:32:32	我々としては確認して
1:32:37	ここに記載した方が系ですのでそこが、
1:32:41	簡潔明確に伝わるように資料を修正したいと思います。
1:32:47	。
1:32:51	規制庁規制庁谷です。その辺の考えがわかるようにしていただきたいんですけど、あと1点は有意な影響がないと波源選定も影響がないよっていうような主張がまあ書かれているわけなんですけど。
1:33:07	だとしたら、基本的な考えとして、市地形として残す残さないっていうのがあんまり変わらないんだったらどうしてその地形を残した。
1:33:19	家地形で検討するのかっていうのはどっか書いてるんですか。
1:33:27	それともうどれでも変わらないからも残して地形でいいんだっていう、特にそのこだわりはないってことなんですけど、その基本的な考えているということになってるのか確認させてください。
1:33:42	北海道電力の奥寺でございます。もともと来壊さないで現地でやるのが基本パターンだと思ってそこが出发点だと思っておりまして、
1:33:54	それを壊した壊さないというようなところで実際にやった結果、
1:34:00	ちょっと有意な差も議論ありましたけれども、
1:34:04	水位がほぼ変わらず、また波源選定にも影響がないという結果を踏まえると、
1:34:11	もともとあるものでやっても結果は同じであろうというような、そういう趣旨でございます。
1:34:19	基本パターンでやるという趣旨でございます。以上です。
1:34:26	はい、谷です。あれですね、寄付を北海道電力としては基本としては現況の地形っていうのが基本にあってそこから変える必要がないっていうようなことを考えているということですね。わかりました。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:34:41	規制庁ナイトウですけど、その通りです。刀禰。
1:34:45	刀禰。
1:34:46	もうちょっとうまく説明を
1:34:49	してください。選考でもいろいろやってるからそこをきちんと
1:34:54	先行の考え方でどういう表現してるのかっていうのも含めてどう書くべきなのかってのはよく整理して欲しいんですけども、
1:35:02	あれですよ、基本、現況の地形でやりますというただ耐震設計なりをやっていないので、そこは壊れる金を不正は否定的ないとだけれども、だけれども、だから最大の影響が出るであろうと。
1:35:21	という形を考え、考えて、
1:35:24	北電の場合は全部取っ払った形という形でやったんだけど、
1:35:30	影響がないことは確認できたので、だから等で損傷の程度がどの程度になるのかってのは想像できないから、現況の形で基本ケースとするっていう、
1:35:44	説明をでいいんですよ。
1:35:47	先行はみんなそういう説明をしているんだけど、御社もそういう考え方でってことでいいですよ。
1:35:59	北海道電力の奥寺でございます。その考え方でございます。
1:36:06	規制庁の体制であれば、そういう考え方ですっていうのをきちんと書いてもらいたいんですけど。
1:36:14	北海道電力オクデラでございます。
1:36:16	趣旨を理解しました記載を適正化充実化したいと思います。
1:36:41	規制庁タニです。
1:36:44	ちょっと次の確認に移りたいと思うんですけど、今回大きく貯留堰を下回る時間についてということで資料、
1:36:55	いろいろ追加していただきました。で、416 ページにまとめてっていう形で書いてあるんですけど。
1:37:04	これ前も
1:37:08	前も千鳥との調整可能これ言っ
1:37:12	てると思うんですけど。
1:37:14	結局なんてさ時間の比較今 7680 秒とかそういう話は、当企画はしてるっていうのは、資料を変えてもらわないんですけど、この
1:37:28	これで何かなんていうんですかね、十分なのかどうなのかっていうのが後段の審査とかです、この裕度が十分なのかっていうのは、より詳細な確認が必要かなというふうにはに考えているんですけども、ここです

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:37:44	診察するのは、
1:37:47	敷地に影響が大きな津波っていうのがちゃんと探すことができるのかっていうとこ、これが多分あの多分というか、論点になるわけですね。
1:37:56	で、
1:37:58	今回、
1:38:00	あれですね、例えば 405 ページだとかで、
1:38:05	前回、
1:38:07	これ細くなってますけども、
1:38:10	分析をいろいろ加えられてそれぞれの地形形成する地形モデルで、
1:38:18	あれですね
1:38:20	水位変動最大ケースっていうのが大体推移水位変動量に着目したパラスタっていうのは、
1:38:29	貯留堰を下回る時間の評価が大きくなるようなものが選ばれているんだっていうのがずっと説明。
1:38:38	されているってことなんですよ。それでいいんですよ。
1:38:45	ダイドー電力オクデラでございます。そ水位変動量の大きいものが継続時間も大きい傾向にあるということを確認したという趣旨でございます。
1:39:11	はい。ちょっと詳細を確認ししてみたいと思いますけど今の考えはそうですね時間の観点からも網羅的にパラスタを概ねモール網羅的なパラスタができているということ言ってるんだと思う。結局、
1:39:29	最終的にこれ、
1:39:31	一番時間が長くなるのは、どのケースだったんですかね。
1:39:37	何ページ見たらわかるんですけど。
1:39:43	北海道電力オクデラでございます。416 ページをご覧ください。
1:39:47	はい。
1:39:48	376 ページに、
1:39:52	前地形モデルにおいて、
1:39:55	2 の保守性を考慮した時間の最大ケースで 700 秒。
1:40:01	それが最大水位下降量に着目したパラメータストリートの最大ケースと同じっていうと同じであるということを確認しております。
1:40:10	以上です。
1:40:11	はい。これって各係数で最大係数がどのようになるよっていうその一覧表がないんですか、各地系ケースでの
1:40:21	最大の時間っていうのは、
1:40:27	なければならぬいいですけど、それで聞きたいのがこの

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:40:34	700 よってというよってこのケースっていうのは、
1:40:38	縁部でのなんかチャンピオンというか、下降側の影響が大きい。
1:40:45	というのに選ばれて、
1:40:48	行くんですか、その 700 秒というのは選ばれるようなケースになるのかっていうのを、これはちょっとまあ、今後の話だと思うんですけど、ちょっと考えを確認させてください。
1:41:00	北海道電力の青木です。376 ページのこちらの保守性を考慮した時間 700 秒のケースが水位下降量についても一番最も大きい形成ですのでこちらを最大ケースとして今後の
1:41:16	検討に進んでいくようなケースとして選定しておりますと、回答は以上です。
1:41:21	規制庁とディスコ、
1:41:23	これですねだから健全モデルから選ばれるケースになると、別にその他のケースも、例えば、
1:41:32	地形①ですか、地形モデル。
1:41:36	それはそれで。
1:41:38	またチャンピオンになる、これは、
1:41:42	地形モデル 1 っていうのが 386 ページになるんですけど。
1:41:48	地形モデル①でいうと、
1:41:51	これは別に 645 秒は、
1:41:55	一番、
1:41:56	なんて言うんですか、影響が大きいな。
1:41:59	波源にはならならずこの 11.25。
1:42:02	選ぶってことなんですか。
1:42:06	11.25 点の水位の変動量の
1:42:10	北海道電力アオキです。386 ページの地形モデル①の場合で言いますと、一番上の 3 号炉取水口箱穴性変動量最大形成を今後の検討で用いる波源となります。②の保守性考慮した時間の
1:42:26	645 秒のケースについては対象外というようなふうに現在考えております。以上です。
1:42:33	はい。だからあれですね地形モデルごとに一応今の考えとしては水位変動量が最大になるものを選んで行った結果、この全体のケースとして 700 秒っていうのが一番長い時間なんですけどそれは、
1:42:49	健全モデル 1-1 で健全モデルのほうで選ばれるのと一致するんだっていう説明かと思いました。それでいいですよ。
1:42:59	その通りです。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:43:04	昨日、
1:43:06	規制庁ナイトウですけれども、ちょっとよくわかんないのが取水可能時間、
1:43:13	を比較して10分小さいことを確認したとしてるんだけど。
1:43:19	これって、
1:43:21	プラント側の話ですよ。
1:43:26	北海道電力オクデラでございます。そう考えてます細かい話は入力津波の項で、
1:43:35	プラント側で検討する話かなと考えております。
1:43:38	現調にてないですけど、これは波源の選定としてきちんと選ばれてますか、どうですかって話なので波源に影響する選定に影響するのは貯留堰の上端を高さ幾つに設定をするので。
1:43:56	それを考慮したときに波源として適切に設定できています。
1:44:03	水位が一番下回る時間を選ぶことによって、それほう素濃度一番下回る時間以外についても、貯留堰の上端を下回る時間っていうのを考慮した結果、それもきちんとカバーした形で、
1:44:21	水位最大水位を選ぶことによってそれをカバーした形で波源が選定できています。
1:44:31	ということを
1:44:33	なのかどうなのかを聞きたいんだけど。
1:44:36	そういうことでいいんですか。
1:44:43	もっと言うよね。
1:44:45	取水可能時間で貯留堰の内側を掘り下げるいくらでも増えるんですよ。
1:44:50	それは設計の話なので、
1:44:53	水位という観点で言えば、
1:44:56	基本設計として、
1:44:58	波源設定として必要なのは貯留堰の上端を幾つという設計方針としているので、それに基づいた波源選定を考えたときに、貯留堰を下回る時間も含めて、
1:45:13	こういう考え方でやるから選ばれるんですという、北電さんの考え方が、
1:45:22	そうなってるのかどうなるかを我々は説明いただきたいんですけども、
1:45:26	そういうことでいいんですか。
1:45:28	385ページを見ると、
1:45:33	資料を読む限りは、何かいろいろやってんだけど、この結論だけで答えていて、
1:45:39	保守性を考慮した。
1:45:42	時間設定をすれば、最大水位を

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:45:45	やるものが貯留堰を下回る時間を最大になるので、それで。
1:45:53	だから、最大だけを見とけば見ている形になっているけれども、この考え方でやればきちんと貯留堰を下回る時間もカバーできるんですとそういうことを説明したいんですか。
1:46:36	北海道電力の奥寺でございます。地形ごとで見えていくと。
1:46:41	一致しないものも出てくるんですけども、トータルで見たときには、あい 385 ページの
1:46:49	②の補正を考慮した時間で最大水位等、
1:46:53	継続時間の長いものが一致しているとそういう評価です。
1:47:00	基本的に、
1:47:02	波源の選定の基準津波の選定は、
1:47:07	Guideなんかも見見てるんですけども、当然我々も水位変動を基本として考えるっていうようなことは書かれているかと思います。
1:47:18	で、そういう貯留の時間とかそういうようなポンプの吸い込み時間みたいなものについては、
1:47:26	ある場合においては確認するというような形で書かれていたかと思しますので、今回その趣旨に従って
1:47:36	あのですね、もう行った結果、十分余裕があるかなというようにまとめにさせていただきます。
1:47:42	以上です。規制庁タニですけど今 1 点ちょっと、もともとをそもそも論の話をすると別記のほうにはですね。
1:47:53	別記の工場の
1:47:56	3/3-4 ですか。3-
1:48:00	4、ここには本人ユーロがあつてと海水ポンプの機能保持でき、かつ冷却に必要な海水が確保できる設計であることっていうことで改正が確保できるかどうかというのを、
1:48:17	審査で見えていくってことなんですよ、冷却に必要な海水が確保できるかどうかというのも一つあるので、これって、貯留堰を設ける場合には、要するにポンプより下回る場合とかですね。取水口より下回る。
1:48:32	それは時間の観点になっていくんじゃないかということなんですけど、その辺どう考えてるんですか。
1:48:44	北海道電力オクデラでございます。
1:48:46	その辺の観点というのが今設計貯留堰をこういうふう設計したものを仮定すると 680 秒、128 本あるというようなところでちょっとそこに対しては、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:49:01	十分に裕度を持っているっていうような考えでこれを超える猛暑ないけど、定めた配置設計の話でしょとさっきから言っている。
1:49:11	商流付の、
1:49:13	上端の高さをこう設定して波源を設定し、それにも影響がないような影響がある波源を設定したとしても、貯留堰の中の容量をこういう形で設計するので。
1:49:29	それ設計の話でしょ、って言って、
1:49:34	ここで設計我々のところで、設計の妥当性までは見ていない。
1:49:41	設計の議論をプラント側ですのために時間をどのくらい貯留堰の有無を下回るる。
1:49:50	津波としてはどういうものがあるんだけれども、
1:49:57	でもその時間をカバーできるような容量を確保するために、今、貯留堰の設定としては、高さが幾つん。
1:50:05	PPB幾つなんて言うてんだけれどもそれを下回る時間こんだけだから、その中にあるものをどのくらいの容量を確保する設計とするので、取水はできますというっていうその後段はプラントの話ですプラント設計な話ですよ。
1:50:44	規制庁タニですけども北海道
1:50:47	よろしいですか。
1:50:49	北海道電力のヤブですけども、
1:50:53	夜については、プラント側の審査っていうことは我々も十分しょっちゅう承知しておりますが、
1:51:01	香川能を議論するときに、今どういう観点でやればいいのかということだというふうに思っております。それで、
1:51:09	今回も止めさせていただいたのは、基準津波の選定においては、まず、
1:51:16	津波の水位変動量を基準にして当然
1:51:20	まずは選定していくという考えだと思いますので、
1:51:26	水位変動量をベースにして、
1:51:29	どうしても評価としてはですね今おっしゃられた、今我々TPマイナス4メートルのところの3号の取水口の距離的には設定しておりますけれども、そのTPマイナス4メートル起きる実感
1:51:43	に着目して、それが長ければ、当然、
1:51:48	長いほうが農地の地形の設計にきいてくるということで、それ形で時間をせえへピックアップしたということでございますので、確かあの地形ごとにはですね。
1:52:01	必ずしも水位下降を量が大きいものが、
1:52:08	その読めた起きる時間も時間の保守性を見て、時間も考えてますけれども、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:52:15	と一致しないところもありますがトータルで見たときに先ほど 385 ページでお示した 700。
1:52:26	南小田 700 大体 700 ぐらいですがこれが最大ケースであるということは、
1:52:32	推移低下側の津浪を拾ってですね、確認しておりますので
1:52:41	ここで基準津波として水位低下側もカバーできるといような考えで、
1:52:47	この資料をつくって御説明してるんですが、
1:52:51	これはやはり不な不足があるというか、そういう御指摘でしょうか。ここでちょっと指摘というのもあるんですけども、
1:53:01	いや、既設のですけどね、議論するつもりはないんだけど、離島知見地形ごとに、ちょっと違うんだけど、ということも含めてそこをどこどこで見ればいいのかってのは、
1:53:16	わからないし、いやここにこの数値を拾っていけばいいんですっていう話であれば、じゃあその数値も拾った上で最大の水位低下っていうのが縁部として見たときには考えるんだけどそれはいろんな地形のところいろんなこういばらつきは、
1:53:34	没水最低水位等を継続時間というところにばらつきはあるんだけど、最大水位思うとものが最大水位低下継続時間をカバーできているので、
1:53:50	今の検討で進めれば、きちんと
1:53:56	水位低下時間も含めたものでも、
1:53:59	川をカバーできるような選定の仕方をしている。
1:54:04	という
1:54:05	ことであればそう書いて欲しいんですけども、
1:54:09	北海道電力ヤブです。ご指摘の通り、ちょっと資料にあたしが今申し上げたような中身がページが飛び飛びになってちょっと入っているので、
1:54:20	その辺り我々の理屈に沿った形で
1:54:27	何ページか見ればですね、考えがわかるというような形でちょっと整理をし直させていただきます。以上です。
1:54:35	はい。よろしくお願ひします。おそらく、これだけの厚い資料になってくるとききちんと考え方論理構成をしっかりどっかに求めていただかないと、あとで見たときに今いるメンバー議論したメンバーをわかるんですけども、後で議論していないメンバーが見たときに、
1:54:51	どこにそれ書いてるのって話になっちゃいますので、そこは事業者としてこういう論理構成でだからいいんですっていうところをしっかりと書いてください。
1:55:02	はい、北海道電力ヤブです。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:55:04	はい。結論を導く数字の引用が必要であれば引用したり、日参照ページが必要であれば参集したりという形でわかりやすく整理したいと思います以上です。
1:55:19	規制庁タニですけど続いてなんですけど、ちょっと時間もだんだんなくなってきてて、各だん簡潔に答えていただけたらと 100373 ページで、今回朔望平均干潮位っていう濃度。
1:55:35	を基準にその時間の計算の仕方を変えましたといった説明があると思うんですけど、これで基本的にはこれをこうなんているんですかね、この考え方をしたら時間はきっと伸びる方にしかないんじゃないかなと思うんですけども、
1:55:54	その辺の話を確認して確認したいのと、
1:55:59	ただこれ、何かよく見ていくと。
1:56:02	前回よりも何か時間が短くなってるんじゃないかなっていうようなケースがあって、その辺何なんで、例えばで 397 ページ。
1:56:14	なんですけど、これ確かなんか地形②モデルっていうのは、前回 704 秒だとかそういった班、
1:56:24	数字だったような気がするんですね。
1:56:27	これ
1:56:29	どうしてそうなってるのか私はちょっと見るところ間違ってるのかもしれないんですけども、教えてください。
1:56:50	北海道電力の青木です。まず、373 ページの朔望平均干潮位を見ることによって、より時間が長くなるような保守的な評価になる。
1:57:01	というところはその通りです。一方、前回の資料からの変更点というところで、前回の会合の際に東亜
1:57:11	前回の会合最大平均潮位から時間差出していると発言しましたが、こちら誤りでして、もともと前回資料のサエキから朔望平均干潮位を考慮した上で整理していたというところなのであたりについては基本的に変更はないものと考えてます。
1:57:28	あと
1:57:29	与えが減ってるんじゃないかという点についてはちょっと前回資料を確認した上でまた別途回答させていただきます。以上です。
1:57:38	ただ、
1:57:39	規制庁タニです。ちょっと大分私もので混乱してしまったんですけど与え変わってないですか、376 ページの
1:57:48	健全モデルでも難航 700 余じゃなかったような気がするんですけど
1:57:55	ちょっと、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:57:56	今回、そうそういう話であれば、
1:58:00	前回からどう関わって関わってる関わってないのかっていうのをちょっと1回、 どっかで整理していただけたらと思いますんで、間違いなく前回は朔望平均干 潮位、
1:58:15	を基準にした。
1:58:17	低下時間。
1:58:20	だったんですか。
1:58:23	その通りの認識ですね、前回の資料においても朔望平均干潮位を考慮した時 間で算出しております。ただこの
1:58:30	まとめのページのところでちょっと整合してないところあるかもしれない争点は 確認させていただきます。
1:59:09	えっとですね今資料をもう1回確認しましたけど例えば3号炉の最大の長さ て704秒っていう
1:59:17	ーになってるんですけど、この辺が変わった理由っていうのは、
1:59:21	なんですけど前回間違ってたのか何か社今今聞くと、全く計算の方法変えてな いってということなのに関わってるっていうのはちょっと
1:59:32	その辺の説明はちゃんとしてください。お願いします。
1:59:42	北海道電力オクデラでございます。その辺も含めて、もう一度確認させてい た だきます。
1:59:56	規制庁タニですけど、あとはですねちょっとこの時間の話をするときには、
2:00:04	し実際下回る①の貯留堰を下回る時継続時間っていうのと、保守性を考慮し た時間っていうのを真ん中二つをずっと資料としては前からずっと続いているん ですけど、結局これはあれなんですか何かこう、
2:00:20	取水性の評価とかとするときには、
2:00:24	②を使うっていうことでいいんですね、保守性を考慮した時間っていうのを 使う っていうことでいいんですかね。
2:00:35	北海道電力の青木です。取水性のポンプへの評価については別途管路解析 を実施しますので、この①と②ともどっちを使うとかそういう概念ではないもの になります。
2:00:50	以上です。
2:01:09	規制庁タニです。
2:01:12	評価何かを評価例えば例えばですよ今御社の考えに沿って影響が大きい基 準津波っていうのを感じ
2:01:22	取り作りましたと。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:01:24	その時にはなんか取水性を評価する部分においては例えば貯留堰の話をするのであれば、②を使うっていいことですか。
2:01:58	。
2:02:00	すいません時間もないので、
2:02:03	あれですね、何か資料でどうこの①②と二つつくってつくってるんだけど、御社としてこれどう使い分けるのかみたいなのか、考えがあるんだったら、ちょっと書いて欲しいなと思いますので、お願いします。
2:02:23	北海道電力のムロタです①と②の扱いであってどういう評価に使うものなのかわかるような記載を追記します。以上です。
2:02:33	規制庁との多分それがないと、さっきのお話戻ると、時間が長くなるものがないってんですかね、最大、最大水平変位量見とけばわかるんだって話を、どっちで話をすればいいのかとかですね。
2:02:50	そんな話に影響すると思いますのでちょっと考えをはっきりさせてくださいというのが趣旨です。
2:03:14	規制庁タニですとちょっと話変えます時間もないのであれなんですけど、111ページまで戻ってもらっていいです。
2:03:25	これ前々から言ってるパターン号東側に寄せなくてEUっていう
2:03:32	パターン5のパターンを、例えば東タニ持っていかななくていいんですよっていう理由がここに書かれてるんですけど、多分これあれなんですよね
2:03:44	結局影響が大きくなった波源
2:03:48	Aとして選ばれたものだけ起こって、多分比べてるんだと思うんですけど、これで全体の
2:03:55	もっとたくさん
2:03:58	パラSTARのデータってあるぞあるわけですよ。全体の傾向としてどうなるかとかそういう話は、
2:04:05	説明できないそんななんで。
2:04:08	なんでここ、例えば111ページで、この二つの線しか選んでいないのかとかいうのがですね。
2:04:17	ちょっと見ててわかりにくいんです。で、ほかにもいっぱい波源であるんだけど、これがすいません。話の腰を折ってすいません北海道電力奥寺でございまして今Pdの方が、
2:04:32	通信が切れてしまって発言内容が聞こえなかったんですけども、申し訳ないです。すいません今聞こえますか。
2:04:40	今は聞こえます今抱え今聞こえるようになりました、ちょっと何か昼になるとよくなるのかもしれないんで、111ページで、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:04:48	なんかこう全体の傾向としてどうなのかみたいな説明があれば、何か。
2:04:55	わかるんで困難で 111 ページで、二つのケースでしか
2:05:02	比較してないですよねパターン 1 とパターン 5 っていうのが、これって他の例えばパラなんですよ。
2:05:13	アスペリティ位置が変わってきたら、例えばんなんてこれと違う傾向もあって、波源入れかわるかもしれないじゃないかとか、そういったことはちょっと確認したいんですけども、
2:05:25	何他の全体的な傾向としてこれどうなってるのかっていうのはどっか見たらわかるんですか。
2:05:36	北海道電力の青木です。今回の資料ですと最大ケースになっておりますアスペリティ位置の伊藤EFに着目して記載したというところになります。ほかのアスペリティ位置がどういう傾向かになると、これと同じような傾向にはなってないところもありますので、
2:05:54	今回はわかりやすいようにということでETFに着目して整理しております。以上です。
2:06:03	。
2:06:05	はい規制庁タニですんでそこなんです、他のほかの例えばケースで、
2:06:12	やっぱりこうなんか寄せたほうが大きくなるようなケースが
2:06:17	すごく大きくなるようなものがないのかとかそうそういうの見ようと思ったら、
2:06:24	どっか
2:06:26	因子分析のところとかを見ればわかるんですか。
2:06:39	北海道電力のアオキですとアスペリティとか断層パターン絡めた形でグラフとかを整理してないので、ちょっとそれがわかるように資料化したいと考えてます。以上です。
2:06:58	はい規制庁刀禰です。これってあれなんですよね一番最初のパターンの、
2:07:03	やって八つ今パターンがあるんだけど、母例えば 8 番目にプラスして 9 番目みたいなパターン必要ないのっていう話なので、多分、もっとこう全体のところから影響があるものただだけで話をしても、ちょっと
2:07:20	私もよく理解できなかったところがあるので、何かちょっとその辺の考えはわかりやすいようにしていただけたらと思います。
2:07:40	規制庁ナイトウですけれども、一方ねえと会合でも言っているんですけども、
2:07:46	8 のパターンの、
2:07:49	傾斜が逆のパターンっていうのは、
2:07:52	次に、
2:07:54	影響しないんですっていうのをどうやって説明されますかって話なんだけど。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:08:00	今の説明だと。
2:08:03	8 の
2:08:05	パターン初の傾斜が逆の
2:08:08	パターンを、
2:08:10	やっても影響は小さいんです。
2:08:14	どう。
2:08:15	何をもって言ってるのかがわからないんですけど。
2:08:35	北海道電力オクデラでございます。
2:08:38	111 ページで言いますと、
2:08:41	左の
2:08:44	中国語、
2:08:48	すみません。
2:08:51	あとは、
2:09:12	規制庁ですけど何か。
2:09:14	電波が悪いですね、規制庁です聞こえてますか。
2:09:19	オクデラです聞こえております。今聞こえました。
2:09:23	さっき奥寺さんの話始めで途切れてしまったんですけど。
2:09:29	オクデラさんの発言をもう1回お願いしていいですか。
2:09:43	規制庁ですけど今しゃべってもそこ力を北海道電力オクデラでございます。112 ページで言いますと、
2:09:51	音と左側の水位上昇側で登録を比較してございます。こう登録で比較すると6のほうが大きいので、それを6を東側に移動するという検討で代表させてという説明になります。
2:10:07	以上です。
2:10:23	規制庁タニです。ちょっとかみ合っていないかもしれないんですけど111ページの
2:10:30	一番右の
2:10:33	パターン5をもっと東側に寄せる検討はしなくていいのかってこれともとのパターンとして、そういったものを考えなくていいのかっていうのは、前回、前々回の会合から言ってることに対して、ちょっと言ってみては何か先ほどもうちょっとデータも追加してっていう話をされたので、
2:10:52	考えがわかるようにしていただけたらと思います。いいですかね。
2:11:02	はい。そのようにさせていただきます。
2:11:08	規制庁タニです。あと1点なんかの、これは、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:11:11	どっか書いてるのかもしれないですけどこれってそもそも論の話、地殻変動ってどう考えてるんでしたっけ。
2:11:37	どこどこかにその辺のことを書いてるところありますかっていうだけの話です。
2:12:00	北海道電力オクデラでございます。もう一度確認ですけれども、
2:12:06	このパターンを、
2:12:10	東端に、
2:12:13	移動させなくてよい理由が、
2:12:16	ここに記載されているかというような御質問ということでよろしいですか。
2:12:22	111 ページの一番右のパターンで、
2:12:27	一方、
2:12:29	でももう1個前の話ですかね。もう1回、
2:12:34	一方で、
2:12:43	もう一度聞こえますでしょうか北海道電力オクデラでございます。はい。
2:12:49	ササキ努力と、
2:12:52	よろしいですか。
2:12:55	先ほどタニさんがおっしゃってた出資というのの確認なんですけれども、
2:13:00	111 ページの
2:13:03	一番右の図の5のパターンを、
2:13:07	東端に移動した時に移動しなくてよい東北電が考えている理由がどこかに記載されているのかというご質問趣旨ということでよろしいでしょうか。
2:13:21	うん。それはずっと言っていて、そのあとの話は、
2:13:26	その際、それはそうなんです。それはさっきその一歩前に言った話で、コメント何ぼですかね、前々回前々回で言っているコメントに対してはちゃんとわかるように考えはわかるようにしてくださいというところなんです。最後に言ったのは、私この当縁部の
2:13:44	評価で地殻変動ってどう考えてるかっていうのがどっかにあったかなという今ふと思って確認してるんですけど。
2:14:01	と通水を考えるときに地殻変動量っていうのは、同断層による値、
2:14:08	地殻変動量をどう評価しましたとかいうのは、
2:14:11	どっか書いてますかっていうだけの話です。
2:14:16	明日進みますが、
2:14:23	いう
2:14:38	北海道電力オクデラでございます。
2:14:43	発言がほとんど音声切れて聞こえなかったんですけども、申し訳ないです。
2:14:53	。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:14:56	縁部で地殻変動量ってどうしてるんでしたっけっていうのを聞きたかったんです。
2:15:11	規制庁タニです。地殻変動、地震に伴う地殻変動っていうのを、この津波の評価ではどうしてますっていうのがどこか書いてありますか。
2:15:31	北海道電力のムロタでございます地殻変動をどう処理してるかっていう記載は、この資料には記載、今のところはされてないです。
2:15:43	規制庁タニです。ちょっと電波もあるのでこれぐらいにするんですけどわかるようにしてくださいねその辺の
2:15:49	考えが
2:15:52	わかりました資料に追記させていただきます。
2:15:57	はい、規制庁タニですけどもう大分時間を過ぎてて、この今、通信もあんまりよくないので、ヒアリング以上にしたいと思うんですけど何かありますか。
2:16:16	はい。特段ないです。ありがとうございます。
2:16:22	規制庁タニです。資料を準備整ったらめどが立ちましたら連絡いただくっていうことでよろしいですか。
2:16:32	北海道電力オクデラでございます。そのようにさせていただきたいと思います。
2:16:37	。
2:16:38	はい規制庁谷ですよろしく申し上げます。それでは本日のヒアリングを終わります。どうもお疲れ様でした。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。